事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	道路新設改良等事業					事業通番	4568
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり		終了年度	--
	施策No.	1-3	施策名	交通体系の充実		担当課名	建設水道課
予算科目	会計	一般会計		款	土木費	担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路新設改良費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	道路法・会津美里町道路管理基準要綱
事務事業の概要	町道、水路などの改良等を行い、ライフラインの安全を確保する。 狭隘な町道の改良や歩道の設置、未改良区間の改良等を行い、良好な道路交通環境を確保し、町民の利便性・安全性を図る。
対象（誰、何を）	町道の狭隘区間
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	安全な道路の通行が確保される
成果の考え方	町民の利便性、安全性を図る

【成果指標】		単位
A	測量設計延長	m
B	改良（施工）延長	m

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	148,368	135,014	230,315	130,562	208,009
国庫支出金	35,170	35,116	74,955	16,959	92,101
県支出金					
地方債	76,400	61,000	120,500	75,000	51,600
その他					
一般財源	36,798	38,898	34,860	38,603	64,308

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	510	200	1,000	250	290
	530	220	1,110	250	620
B	740	300	600	500	732
	685	282	638	432	642.3

（3）活動実績及び成果

活動実績	町道12009号線歩道整備工事（2工区、3工区）に着手し、予定どおり竣工した。 道路改良工事（町道13047号線）も今年度予定箇所は完了した。
成果	改良工事を含め水路や舗装の新設及び補修を行うことで、より良好な道路交通環境の確保が図れた。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 緊急度合いによる優先順位を設定し、年次計画で整備することにより利便性、安全性を図る。
コストの方向性	現状維持	（理由） 再生材を利用しコスト縮減に努めており、削減の余地はない状況である。
今後の方向性	現状維持	（理由） 優先順位、年次計画により道路交通環境整備を行い、利便性、安全性の向上を図る。

事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	公共交通利用促進事業					事業通番	4712
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり		終了年度	--
	施策No.	1-3	施策名	交通体系の充実		担当課名	政策財政課
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	政策企画係
	項	総務管理費		目	企画費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法、会津美里町地域公共交通会議設置要綱
事務事業の概要	地域公共交通網形成計画に掲げる基本理念「安心して住み続けられる便利で持続可能な公共交通網の形成を目指す」に基づき、利用者ニーズを踏まえ地域内交通及び地域間交通の維持・充実を図るとともに、広域交通を担う路線バスにおいては、新たな交通拠点や目的施設を経由するなど、便利で持続可能な公共交通網を形成する。令和７年度は、引き続き坂下厚生総合病院便の実証事業を実施し、本格稼働に向けた運行方法を検討する。また、令和８年度を始期とする会津美里町地域公共交通計画について、個別具体的な事業の実施内容を検討し、年度内に計画を策定する。
対象（誰、何を）	町民
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	公共交通を利用する
成果の考え方	町民の日常生活に必要な移動手段が維持・確保され、通院や買い物、趣味活動等において外出利用が増えているかを評価とするため、以下の指標を設定する。 Ａ：美里あいあいタクシー利用者　Ｂ：路線バス利用者

【成果指標】		単位
A	美里あいあいタクシー利用者	人／年
B	路線バス利用者	人／日

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	53,168	74,151	72,328	92,159	70,157
国庫支出金				500	682
県支出金	5,803	6,600	6,947	10,447	7,658
地方債					
その他	7,695	85	73	75	55
一般財源	39,670	67,466	65,308	81,137	61,762

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	27,450	27,450	27,450	27,450	27,450
	22,235	23,411	23,940	24,350	23,585
B	844	844	844	844	844
	596	547	594	620	536

（3）活動実績及び成果

活動実績	・高田地域の文殊大祭開催日に、美里あいあいタクシー無料デーを実施した。 ・令和8年度を始期とする町地域公共交通計画を策定した。 ・会津圏域において地域公共交通計画及び広域路線バス再編に関する利便増進実施計画を策定した。
成果	・美里あいあいタクシー無料デーを実施し、高齢者を中心とするデマンド交通の潜在的利用者の掘り起こしや、美里あいあいタクシーの利用メリット等の周知を図ることができた。 ・広域路線及び地域内交通の利便性及び接続性を向上させる施策を盛り込んだ町の地域公共交通計画を策定できた。 ・会津圏域においては、路線バス（高田線）の会津高田駅乗入れや会津学鳳高校への延伸といった学生の通学時の利便性を図る再編内容を盛り込んだ利便増進実施計画を広域的に策定できた。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 公共交通は交通弱者を中心に住民生活に必要不可欠で重要な役割を果たしているため、令和７年度に策定した「公共交通計画」において実施した様々なアンケートの結果を有効活用し、サービスの向上に努め利用者の増加を図る。
コストの方向性	現状維持	（理由） ドライバー不足や物価高騰による燃料費の上昇、人口減少による使用者の減少に伴う歳入の減などから負担金・補助金の増加が見込まれるが、各交通機関の役割を明確化し、連携を密にするなど創意工夫によりコストの削減に努める。
今後の方向性	現状維持	（理由） 人口減少、少子高齢化が加速していく中、町民生活の足である公共交通を維持確保していくには、新たな公共交通のマスタープランである「会津美里町地域公共交通計画」に基づき、行政、地域、交通事業者が連携して利用促進に取り組んでいく。

事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	除雪対策事業					事業通番	16755
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり		終了年度	--
	施策No.	1-3	施策名	交通体系の充実		担当課名	建設水道課
予算科目	会計	一般会計		款	土木費	担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	道路法（昭和27年6月10日法律第180号）、道路法施行令（昭和27年12月4日政令第479号）、会津美里町道路管理基準要綱（平成17年10月１日告示第156号）
事務事業の概要	除雪を実施することで、降雪時の交通障害を解消し、冬期間の交通の安全を確保する。
対象（誰、何を）	除雪路線（歩道を含む）
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	除雪（排雪を含む）を行い、住民の安全な通行を確保する。
成果の考え方	除雪に対する住民の満足度 直接の数値を捉えることは困難なので、間接指標とする。除雪のクレームや要望が少なければ少ないほど満足度は高いといえる。

【成果指標】		単位
A	降雪により通行不能となった日数	日
B	-	-

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	225,502	133,739	139,826	273,018	175,495
国庫支出金	38,455	4,982	23,583	64,838	21,000
県支出金					
地方債	8,300		5,500	12,600	3,300
その他	916	198	2,099	1,621	263
一般財源	177,831	128,559	108,644	193,959	150,932

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	0	0	0	0	0
	0	0	0	39	0
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

（3）活動実績及び成果

活動実績	除雪作業実施時に問題なく除雪機械が作動するように点検整備を実施した。 降雪時期に地域住民の生活、経済活動を維持するために必要な除雪作業、排雪作業を実施した。
成果	今年度は集中的な豪雪がなく、除雪後に路面が乾燥する適度な降雪間隔にも恵まれ、通常の除雪に加え路肩の拡幅作業も計画的に進めることができた。 また、除雪遅延による通行止めを防ぐとともに、十分な車道幅員を確保し、通行の安全を維持することができた。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 除雪を実施することで、降雪時の交通障害を解消し、冬期間の交通の安全を維持するために必要不可欠である。
コストの方向性	現状維持	（理由） 現在、会計年度任用職員（町直営）と委託業者により除雪を実施しているが、ＧＰＳ除雪システムによる除雪路線の見直しを含め、コスト縮減に繋げる必要がある。
今後の方向性	現状維持	（理由） 除雪管理システムを活用し、除雪路線の効率化を促進し、コスト縮減に努める。

事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	道路維持管理事業					事業通番	16756
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり		終了年度	--
	施策No.	1-3	施策名	交通体系の充実		担当課名	建設水道課
予算科目	会計	一般会計		款	土木費	担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	道路法（昭和27年6月10日法律第180号）、道路法施行令（昭和27年12月4日政令第479号）、会津美里町道路管理基準要綱（平成17年10月１日告示第156号）
事務事業の概要	町が管理する施設全般の安全確保を図るため維持管理を行う。
対象（誰、何を）	町が管理する町道、法定外道路、付随の歩道、水路、道路照明・街路灯
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	町道、法定外道路、付随の歩道、水路、道路照明・街路灯が安全に機能することを維持する。 具体的には、繁茂して邪魔な草木の除去、陥没等があれば修繕し、危険が予測される状況であればその危険を取り除く。 必要であれば、構造を変える修繕を実施し、住民の利便性の向上に寄与する。
成果の考え方	Ａ：住民や区長から寄せられた要望に加え、パトロールで発見した修繕が必要な箇所について、現場を確認し修繕対応した箇所 Ｂ：道路除草が必要な個所について業務委託契約により実施した面積

【成果指標】		単位
A	修繕実施箇所（道路・歩道・水路・街路灯）	件
B	道路除草実施面積	㎡

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	143,419	173,655	176,690	173,078	169,234
国庫支出金	728	14,246	14,504	19,600	9,778
県支出金	12,469	13,131	13,532	14,480	19,997
地方債	59,100	48,700	75,300	59,600	74,200
その他	2,976	2,926	3,362	3,375	3,387
一般財源	68,146	94,652	69,992	76,023	61,872

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	100	100	100	100	200
	104	134	231	211	202
B	100	99,550	235,000	235,000	235,000
	241,927	235,137	235,767	236,587	239,401

（3）活動実績及び成果

活動実績	職員、公社委託によるパトロール及び各自治区長報告により、危険箇所・破損箇所の修繕を実施した。
成果	危険箇所・要望箇所を修繕することで住民生活、経済活動の維持向上が図れた。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 道路等の維持管理を適切に行うことで、住民の安心安全を図る。
コストの方向性	現状維持	（理由） 物価や賃金の上昇に加え、施設の経年劣化が進み、事業費が増大傾向にある。
今後の方向性	現状維持	（理由） 舗装等の修繕費用が増大していることから、部分的な修繕ではなく、路線全体の舗装打替えの促進が必要である。

事務事業 事後評価シート（令和7年度実施事業）

事務事業名	橋梁長寿命化補修事業					事業通番	16757
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり		終了年度	--
	施策No.	1-3	施策名	交通体系の充実		担当課名	建設水道課
予算科目	会計	一般会計		款	土木費	担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路橋梁維持費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	道路法・会津美里町道路管理基準要綱
事務事業の概要	本町が管理する道路橋は現在156橋あり、急速に老朽化が進行している状況にある。このような背景から、今後、増大が見込まれる橋梁の修繕及び架け替えに要する経費を、予防的な対応に転換し、コスト縮減を図りながら橋梁の補修を行う。
対象（誰、何を）	町の管理する橋梁
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	橋梁の安全が確保される
成果の考え方	老朽化が進行する橋梁を補修することで、橋梁の安全性が確保され、長寿命化が図れる。

【成果指標】		単位
A	定期点検を行った橋梁数	橋
B	点検結果に基づき補修を行った橋梁数(補修設計含)	橋

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(決算)
事業費(千円)	36,005	44,314	42,352	33,440	29,051
国庫支出金	22,113	25,434	16,813	7,625	9,403
県支出金					
地方債	3,700	10,200	19,400	15,800	9,300
その他					
一般財源	10,192	8,680	6,139	10,015	10,348

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	34	65	16	0	0
	54	65	16	0	0
B	1	1	2	2	2
	1	1	2	2	4

（3）活動実績及び成果

活動実績	245号橋（判定Ⅲ）の補修工事を完了した。 101号橋、113号橋、248号橋の補修設計委託を実施した。
成果	判定区分Ⅲである要因部分の補修を実施できた。 101号橋、113号橋、248号橋についても補修箇所の洗い出しを行い来年度の補修に活かしていく。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	（理由） 予防保全に努めることにより、効果的な維持管理を図る。
コストの方向性	現状維持	（理由） 工法、材料についてコスト縮減に努めており、削減の余地はない。
今後の方向性	現状維持	（理由） 予防保全に努め、今後も橋梁の長寿命化を図る。